



みんな満足



～相手満足の先にある景色を旨ざして～

H30. 9.13
NO.25

『校区防災訓練振り返りカード』より

- 今年はブース担当として、エコノミークラス症候群について説明しました。1回目は全然指示が出せず声も届かなかったけど、だんだんうまくできるようになったのでよかったです。そして、自分もエコノミークラス症候群について知ることができて、その対策法もわかり、ブース担当をおしているいる学べたのでそこもよかったなと思いました。
- 小学生が動かしにくいことはわかっていましたが、やっぱり大変でした。メガホンを使っても近くで一人ずつ教えていく必要があり、一つ一つの指示が大変でした。でも、何度もやっていくと、だんだんうまく動かせるようになり、最後の方は結構スムーズにできました。
- 自分のブースを運営するのが思った以上に大変で、最初はうまく誘導したり指示したりできませんでした。でも、やっていくうちに少しずつ人を動かせるようになったし、しっかり声を張って言わないと声は届かないとわかりました。防災訓練をおして、指示の出し方を学べてよかったです。

災害時に中学生ができること

は何だろうとあらためて考えました。実際の災害時にクイズを出すことはないし、都合よくロープがあるか分かりません。竜巻被害の時のようにがれきを処理するのだろうと思います。



はじめはぎこちなかった全体指示も、回数を重ねるにつれて、大きな声で自信をもってできるようになりました。

では防災訓練のブース運営にはどういふ意味があるのでしょうか。

一つは「知識を身につけること」です。ブースの準備をおして、あなたたちはそれぞれ学習し、新たな知識を得ました。説明する時にいい加減なことは言えませんので、真剣に学習していました。ここで得た知識を忘れることはないでしょう。もしもの時に自然に使えるはずですよ。

もう一つは「運営する力」です。小学1年生からお年寄りまで幅広い年齢に対して、同じ内容を説明しました。しかし、口調や言葉遣いは相手によって使いわけていたはずですよ。そのように工夫しても、みんながみんな素直に聞いてくれたわけではなかったことでしょう。そういう場を何度も経験していく中で、しだいにスムーズに運営できるようになっていました。これは学校生活だけでなく学べない大きな財産です。

「中学生の存在が大きな役割を担った」というのは、これ

反いけ まとみ雑下
省とまこせき
しいせれんにと
まけんは、け
しな私小中
た。とは小学
と。主小生
任姿見の
勢習を廊
としてわ
て見ない
大習い
いわと
ない



らった大きな災害時に必ず聞かれた言葉です。いざという時、あなたたちもそんな存在であってほしい。そのために、さらにこの防災訓練が発展していったらいいと思います。

評
美しい文字を書くことができました。

三年 **決強い**

優秀作品
豊橋市立前芝中

『愛知のPTA』という新聞に掲載された作品です。まさに強い決意が感じられる字です。

テストが終わると来週は文化祭です。着々と準備はすすんでいますね。地域の方をおもてなにする。それも「運営する力」です。どうしたら伝わるか。どういふ言葉がふさわしいか。この1週間ですっきり練習をし、運営する力を高めてください。

日	曜	主な学校行事	切
14	金	前期末テスト(①理②英③社)午後金曜5,6限授業	●小坂井体験 ●豊橋東体験 ●渥美農業体験 ○自転車点検カード
15	土		
16	日		
17	月	敬老の日	
18	火	B時間7限(~21)	○テスト計画表
19	水		
20	木		
21	金	⑤⑥文化祭準備	●三谷水産体験
22	土	文化祭(弁当)	
23	日	秋分の日	
24	月	振替休日 文化祭予備日	
25	火	朝会 B時間7限	
26	水		
27	木	⑥委員会 もくもく清掃	
28	金	生徒会選挙 選手激励会	●豊橋中央体験
29	土	時習館体験入学	
30	日		